

## 2020年12月理事会議事録

日 時：2020年12月19日（土）14：00～17：20

場 所：オンライン会議・日本考古学協会事務所

出席：辻 秀人・佐古和枝・佐藤宏之・足立佳代・植田 真・臼杵 勲・大塚昌彦・岡林孝作・亀田直美・河村好光・小菅将夫・惟村忠志・滝沢 誠・田尻義了・谷口 榮・寺崎秀一郎・時枝 務・中嶋郁夫・中山誠二・萩野谷 悟・馬淵和雄・溝口 孝司・宮里 修・高麗 正、監事：都築恵美子・橋本裕行、（事務局：林 純子）

進行：田尻義了

議長：辻 秀人

田尻理事から、本日の出席者は26名（うち理事24名）で過半数に達しており、本理事会が成立することが報告され、議事に入った。

### 会員の訃報について

田尻理事から、福井県の松井政信会員が2020年11月3日、愛知県の紅村 弘会員が11月9日、山梨県の今福利恵会員が11月13日、奈良県の阪口英毅会員が12月16日に亡くなられたとの報告があり、哀悼の意を表した。

### 議案第604号 退会会員の承認について

中嶋理事から、北海道の\*会員、秋田県の\*会員、福島県の\*会員、茨城県の\*会員、群馬県の\*会員、東京都の\*会員・\*会員・\*会員、静岡県の\*会員、奈良県の\*会員、鳥取県の\*会員、広島県の\*会員から2020年度をもつての退会届、栃木県の\*会員から2021年度をもつての退会届が提出されている旨の報告があり、承認された。

### 議案第605号 2021年度新入賛助会員の承認について

中嶋理事から、2021年度新入賛助会員の申込みは、フレンドシップ会員3名、学生会員3名の申込総数6名であり、2020年12月5日（土）に開催された入会資格審査委員会では申込者について特段の意見はでなかった。なお、フレンドシップ会員申込者のうち1名は正会員との併願で、正会員の入会資格審査で非該当となったため賛助会員の入会申込みを有効として扱ったとの報告があった。これを受けて審議の結果、全申込者について入会資格が承認され、総会に諮ることとした。なお、入会申込みの併願については、入会資格審査委員会を中心に改めて制度を整理することとなった。

### 議案第606号 常置委員会・小委員会等の委員長の承認について

高麗常務理事から、各常置委員会・小委員会の構成委員については既に理事会承認済みであるが、定款第37条第5項に基づき委員長の理事会承認が必要なことから、2020年度に委員長が交代した3委員会の委員長について改めて提示された。審議の結果、英文機関誌編集委員会は佐々木憲一委員長、研究環境検討委員会は小倉淳一委員長、アーカイブス小委員会は矢島國雄委員長の就任が、原案通り承認された。

#### **議案第607号 名誉会員選考委員会の設置及び委員の承認について**

佐藤副会長から、名誉会員の選考にあたるため、名誉会員選考委員会内規に基づき、会長以外の総務会担当理事を構成員として選考委員会を設置したいとの提案があり、原案通り承認された。

#### **議案第608号 理事選挙制度検討小委員会の設置及び運営規定の整備並びに委員長及び追加委員に関わる承認等について**

大塚理事から、10月理事会議案第601号で設置が承認された理事選挙制度検討小委員会について、設置及び運営委員会規定案が提示された。また、小委員会の委員長に唐澤至朗委員、副委員長に大工原 豊委員を選任するとともに、新たに委員として大塚理事・中嶋理事・植田理事を加えたいとの説明があり、いずれも原案通り承認された。

#### **議案第609号 日本学術会議推薦会員任命拒否に関わる人文・社会科学系学協会共同声明への参加案内の送付について**

辻会長から、11月10日にメールで理事会での賛同が承認された「日本学術会議第25期推薦会員任命拒否に関する人文・社会科学系学協会共同声明」について、考古学研究会と連名で、各地域の考古学関係学会に共同声明への参加・賛同の呼びかけを行う計画があるとの説明があり、送付文案が提示された。併せて、この機会に情報共有を図ることを目的とした考古学関係学会の連絡網の作成が提案され、審議の結果、考古学関係学会への共同声明への参加案内文書の送付、及び連絡網の作成について承認された。各理事には関わりのある学会の連絡先について、12月末までの事務局への連絡が求められた。

#### **議案第610号 新『会員名簿』の作成について**

辻会長から、会員名簿の作成については、前理事会において個人情報に関わる規定の骨子を作成したところでコロナ禍により検討が中断していたが、前の会員名簿の作成から既に5年が経過していることから、会員の交流や情報交換を図るためにも、会員の許可を得た項目を掲載することで、名簿を作成したいとの提案があった。審議の結果、会員からの許可項目に対する回答が少ない場合の対応や、個人情報の取扱い及び管理体制・運用等の個人情報保護に関する課題については会長・事務局が中心となり整理して継続検討することで、新しく会員名簿を作成する方向性について承認された。

#### **議案第611号 正会員新入会員の資格審査に関わる倫理綱領等の一部改正について**

中嶋理事から、継続審議である正会員入会資格審査における倫理綱領に関わる異議申し立てへの対応について、正会員の入会審査に関わる倫理綱領の一部改正、及び異議申し立てがあった際の対応策について素案3点の提示があった。続けて、萩野谷理事から10月理事会議案第600号を受けて対応策の提案意見が説明された。審議の結果、入会時に過去の倫理綱領への抵触を問題とすることは難しいとの懸念が示され、異議申し立てがあった際の対応担当と併せて、引き続き検討を行うこととなった。

## 報告第795号 2021年度第87回総会開催に関するワーキンググループの会議報告

田尻理事から、11月4日（水）に第2回ワーキンググループを開催し、各行事の開催方法について検討事項を整理し、会場開催・オンラインにおける必要システム等の確認を行った。定時総会・公開講演会については、会場参加とオンライン参加（聴講のみ）のハイブリッド、研究発表についてはオンライン開催で、そのうち口頭発表・セッションは発表者が専修大学に会場来て発表するライブ配信・オンデマンド配信・誌上発表のいずれかを選択できることとし、ポスターセッション・高校生ポスターセッションについてはオンデマンド配信の実施方法とすることで、委託業者の選定を進めている。なお、図書交換会・懇親会・各委員会等の会議は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から実施しないが、理事会のみ会場確認等もあるため一部理事が専修大学で出席するハイブリッドで行う予定であるとの説明があり、了承された。なお、図書交換会の代替として今年度の「考古学スクエア」と同様に、ホームページ上での情報交換の場を設ける検討が広報委員会に要請された。

## 報告第796号 2020年度第86回総会実行委員会収支報告及び残金処理について

中山理事から、今年度第86回総会の決算報告があり、専修大学での会場開催中止に伴い多額の残金があったため、実行委員会から返金いただいたとの報告があり、了承された。

## 報告第797号 2021年度新入会員第1回入会資格審査委員会報告

中嶋理事から、2020年12月5日（土）に第1回入会資格審査委員会を開催し、委員長に長谷川 渉会員、副委員長に白井久美子会員が選出され、2021年度新入正会員の資格審査、及び賛助会員の予備審査を行った。①正会員については、審査の結果、申込総数47名のうち、資格基準を満たす者42名、保留4名、提出業績が資格基準として認められないため該当しない者1名と判断された。保留4名については、2021年1月16日（土）に、委員長と副委員長による第2回入会資格審査委員会を開催する予定である。②賛助会員については、議案第605号のとおりであるとの報告があり、了承された。

## 報告第798号 各委員会等の事業報告（その3）

### 1 アーカイブス小委員会事業の進捗状況について

谷口理事から、アーカイブス小委員会は、これまでの協会の活動記録をデジタル化し将来に継承していくことを目的としており、アーカイブを作成するにあたり古い保存媒体への対応やアーカイブ後の資料の取扱いなどの整理を進めるとともに、来年度の事業としてデジタル化の業者委託等を検討しているとの説明があり、了承された。

### 2 第11回日本考古学協会賞の応募状況ほか

佐藤副会長から、第11回日本考古学協会賞について10件の応募があったとの説明があり、了承された。

### 3 理事選挙制度検討小委員会（準備会）報告

大塚理事から、11月29日（日）に理事選挙制度検討小委員会の準備会をオンラインで開

催し、①委員長・副委員長を選出し、当初オブザーバーとしていた常務理事を除く理事を正式に委員とすることで理事会に諮ることとした。②小委員会の設置及び運営規定案を作成した。③小委員会の検討事案について意見交換を行い、理事選挙における一票の格差の是正に伴う地区単位の見直しや当選者選出方法の見直し等について検討することを確認したとの報告があり、了承された。

#### 4 災害対応委員会報告

宮里理事から、12月4日（金）に委員会をオンラインで開催し、①委員会構成の検討を行い、全国の災害に対応するために、理事選挙の各地区から1名は委員が必要との意見があり、今後の課題とする。②委員会活動として「災害対応マニュアル」の作成の提案があり意見交換を行った。③来年度予算案について協議したとの報告があり、了承された。

#### 5 広報委員会報告

谷口理事から、11月13日（金）に委員会をオンラインで開催し、①協会公式サイト各ページの見直し作業を行い、欠けている項目や不要となった項目を選別した。追加が必要なコンテンツについては、各委員会等に協力を依頼し整備を進めることとした。②『会報』No.201の内容及び編集の進捗状況について確認したとの報告があり、了承された。

#### 6 埋蔵文化財保護対策委員会報告

足立理事から、11月21日（土）に幹事会をオンラインで開催し、①北九州市城野遺跡の史跡公園整備工事に関わる行政手続きについて、北九州市の担当者と面談を行った。今後、適切な史跡保護を求める要望書を提出する予定である。②長崎市長崎県庁跡地の遺跡の保存活用要望書について、長崎県から回答があった。③いわき市平城跡について、11月20日に市長との面談を行い保存要望書を提出したところ、遺跡保護の方向性での回答が得られた。④鳥取県米子市百塚88号墳の開発に伴う発掘調査について、手続き的に瑕疵が認められるものの既に調査が進捗していることから対外的な対応は行わないが引き続き注視していく。⑤岩手県立博物館の学芸員が金属器を無断で切り取っていた問題について、進捗状況の報告があり、引き続き情報収集を図るとの報告があり、了承された。

#### 7 研究環境検討委員会報告

馬淵理事から、11月28日（土）に委員会をオンラインで開催し、①第87回（2021年度）総会セッション及びポスターセッションの発表内容を協議した。②第87回総会セッションの実施が認められた場合に高校生や大学生に行う広報活動の方法を検討したとの報告があり、了承された。

#### 8 陵墓に関わる報告

滝沢理事から、①事前調査見学が2020年11月20日（木）にウワナベ古墳（宇和奈辺陵墓参考地）で実施され、16学協会40名が参加し、当会からは滝沢理事・岡林理事・足立理事が参加した。②新型コロナウイルス感染拡大の影響で延期になっていた宮内庁との陵墓懇談を12月4日（金）に例年より規模を縮小して行い、6学協会6名が参加し、当会からは

滝沢理事が参加したことが報告され、了承された。

#### **9 機関誌『日本考古学』編集委員会報告**

植田理事から、11月30日付で『日本考古学』第51号を刊行し、第50号までの総目録を掲載したとの報告があり、了承された。

#### **10 『日本考古学年報』72（2019年度版）刊行の報告**

河村理事から、『日本考古学年報』72（2019年度版）については11月30日付で刊行したとの報告があり、了承された。なお、今年度は2冊刊行したが、今後は翌年12月に前年度版1冊を刊行していく予定である。

#### **報告第799号 オンライン会議に関わるホストとZoom使用について**

高麗常務理事から、日本考古学協会としてZoomの有料アカウントを2本契約したとの報告があり、各委員会や各種会議で利用する際は、使用ルールを確認の上での利用が求められた。

#### **報告第800号 事業等に関わる後援名義使用の了承について**

高麗常務理事から、日本西アジア考古学会から「第28回西アジア発掘調査報告会」の後援依頼があり、名義の使用を承認したとの報告があり、了承された。

以 上